

ロシア連邦大統領府総務局の連邦国家予算機関「自動車輸送事業所」の試験報告書・2011年9月12日

Hyundai AeroExpressバス： 分解不要で圧縮圧力が 上昇・均一化

ロシア連邦大統領府総務局の連邦国家予算機関「自動車輸送事業所」、自動車修理工場・承認：技師長G.A.ボイコフ・署名：副技師長兼自動車修理工場長V.I.スチョーピン、部門長S.L.サモシン

ロシア・処理期間2011年5月26日～8月7日・2011年9月12日付試験報告書

製品

XADOゲル状リバイタリザント（摩擦面再生剤）「1 Stage」
潤滑系統へ・燃料噴射ポンプ用
XADOゲル状リバイタリザントは燃料タンクへ

処理対象

Hyundai AeroExpressバス2台
D6CAディーゼルエンジン・登録番号M22700およびM 219 00

文書の種類

事業所の試験報告書
署名・押印付き

機械類	作業開始時の走行距離	処理後の走行距離	測定内容
Hyundai AeroExpressバス、登録番号M22700	220,763 km	5,437 km	D6CAエンジンの気筒別圧縮圧力
Hyundai AeroExpressバス、登録番号M 219 00	226,200 km	14,621 km	D6CAエンジンの気筒別圧縮圧力

処理前に、潤滑系統はXADO洗浄剤「VitaFlush」で、燃料系統は総合洗浄剤「J100」で洗浄した。バスはこの間も営業運転を続けた。

主な結果

↑ **1.5 kgf/cm²**

圧縮圧力、D6CAエンジン全気筒の平均（摩耗した気筒では2～3 kgf/cm²）

気筒間の圧縮圧力の均一化

圧縮圧力の測定結果

測定項目	測定対象	結果
圧縮圧力（全気筒の平均）	両バスのD6CAエンジン	+1.5 kgf/cm ²
処理前に低い値を示した気筒の圧縮圧力	両バスのD6CAエンジン	+2～3 kgf/cm ²
気筒間の圧縮圧力のばらつき	両バスのD6CAエンジン	低減

測定は処理前と処理終了後に実施した。処理終了後の測定時点の走行距離は、M22700が**226,200 km**、M 219 00が**240,821 km**である。エンジンは分解していない。

事業所の試験委員会の結論

ロシア連邦大統領府総務局の連邦国家予算機関「自動車輸送事業所」の試験委員会は、試験報告書に「測定結果により、XADO処理後、両バスのエンジンにおいて全気筒の圧縮圧力の値が上昇し、均一化したことが示された」と記載した。全気筒の平均で圧縮圧力は**1.5 kgf/cm²**上昇し、処理前に低い測定値を示していた個々の気筒では上昇幅が**2～3 kgf/cm²**であった。処理はエンジンを分解せずに、XADOの処理手順に従って同事業所の専門スタッフが実施した。バスはこの間も通常どおり運行を続け、最終測定はそれぞれ**5,437**および**14,621 km**走行後に実施した。上昇幅が最も大きかったのは、摩耗が最も進んだ気筒である。皮膜は摩耗のある箇所形成され、圧縮圧力は工場出荷時の定格値を超えて上昇することはない。したがって、各気筒の圧縮圧力が共通の水準にそろえることが、到達しうる上限である。

XADO

© XADO. 無断複製・転載禁止。

本結果は、D6CAディーゼルエンジンを搭載したHyundai AeroExpressバスに関するものである。他の機械類や異なる使用条件では、測定値が異なる場合がある。署名・押印付きの試験報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。